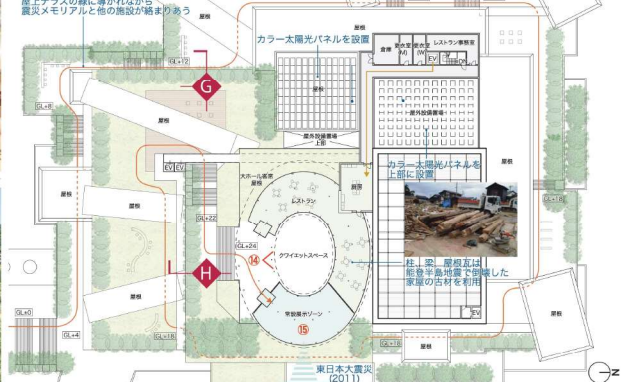


自然の「回遊性」で震災メモリアルとホールを結ぶ



階ごとに分けられたボリュームが積み上げられ生まれる屋上テラスが人を屋上まで導く。屋上テラスには被災地を題材にしたメモリアル施設が点在する

施設全体を使ったイベント（仙台クラシックフェスティバル） 交流イベントロビーを中心に内外で様々なイベントが展開される

中の観客からの見え方 屋上テラスの縁によって建築が周辺に溶け込む

6階・層状平面イメージ図 S=1:600



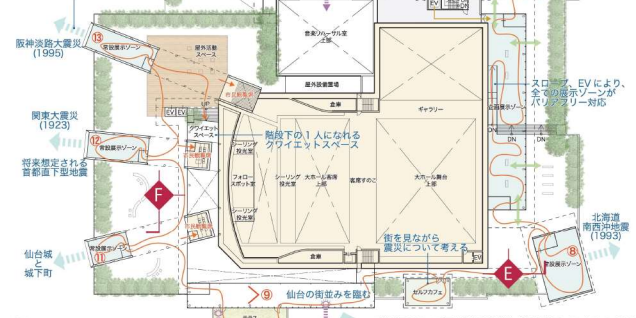
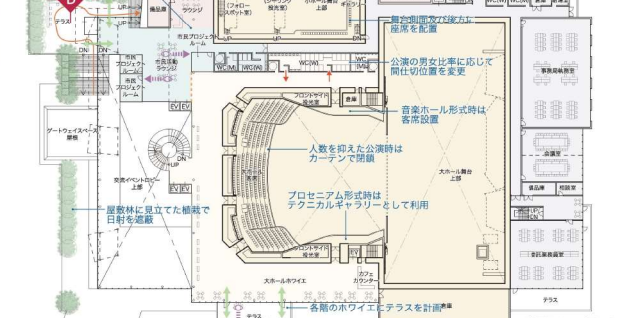
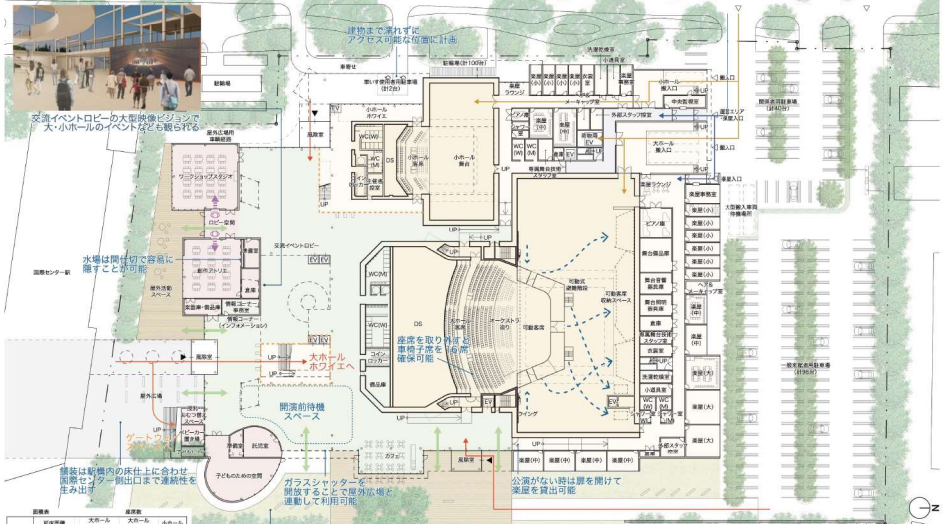
ゲートウェイスペースにて震災メモリアルの構成を説明

練習室で体験館が来館する市民活動ワークショップ

階段を利用した客席でリハーサルを観る

空を眺めたい思いつく広範囲にわたる津波の被災地を眺む

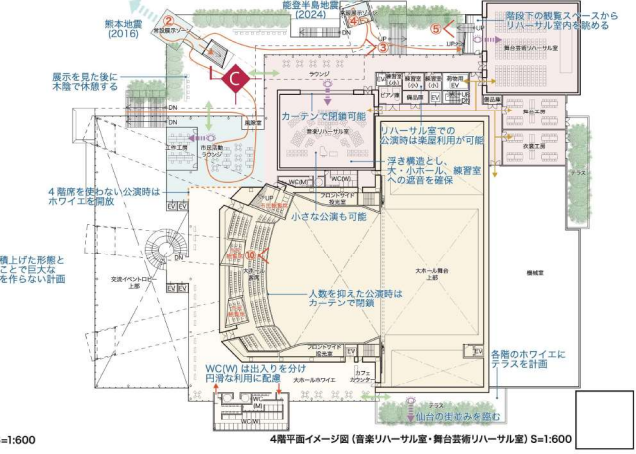
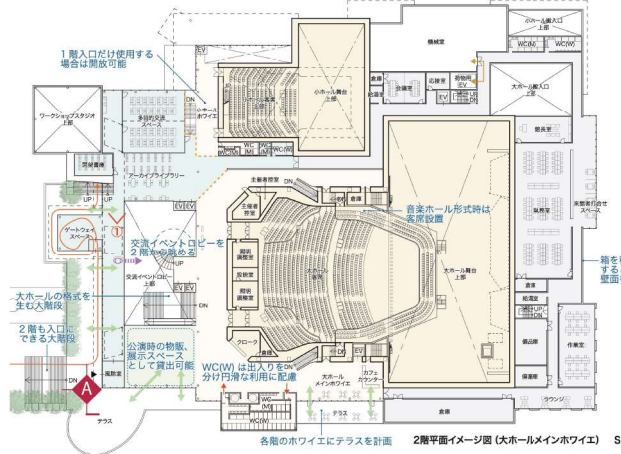
メモリアル施設/屋上テラス 断面ダイアグラム



1階平面イメージ図 S=1:600

3階平面イメージ図 S=1:600

5階平面イメージ図（災害文化創造支援・発信エリア） S=1:600



大空間に測した居住域空間の採用

各階のホワイエにテラスを計画

4階平面イメージ図（音楽リハーサル室・舞台芸術リハーサル室） S=1:600

能登地震で被災した家から能登瓦や柱や梁といった古材を利活用

全国的震災被災地を題材にしたメモリアル施設

鉄道のフェーンエフェクトにより、交流イベントロビーの大空間を表現

駅から震災メモリアル大階段で導く

大空間に測した居住域空間の採用

青葉山の自然に合わせ、カラー太陽光パネルを設置

青葉山の自然に合わせ、カラー太陽光パネルを設置

コスト削減を考慮し支持地盤に直接設けることで、断面イメージ図 S=1:600

1階入口だけ使用する場合は開放可能

大ホールの格天井を大階段

2階も入口にできる大階段

公演時の物販、展示スペースとして開放可能

WC/M出入口を分け、日常の利用に配慮

各階のホワイエにテラスを計画

2階平面イメージ図（大ホール・メインホワイエ） S=1:600

展示を見た後に木陰で休憩する

カーテンで閉鎖可能

リハーサル室での公演は昼間利用が可能

河を眺めると、大・小ホール、練習室への道筋を確保

階段下の1人になれるクワイエスペース

スロースペースにより、全ての公演シーンに対応

各階のホワイエにテラスを計画

4階平面イメージ図（音楽リハーサル室・舞台芸術リハーサル室） S=1:600